

2018年7月12日
東日本旅客鉄道株式会社

信濃川発電所 ゲート操作時における取水量の超過について

当社自営の水力発電所である信濃川発電所（新潟県小千谷市・十日町市にある千手、小千谷、小千谷第二各発電所の総称）において、ゲートの操作を誤り、アラーム動作後直ちに措置を行いました。一時的に（約2分間）取水量の超過がありましたのでお知らせいたします。

地域の皆さまをはじめ、関係の皆さまには、ご迷惑とご心配をおかけし、深くお詫び申し上げます。

今回の事象に対して、速やかに再発防止に取り組んでまいります。

1. 概要（別添資料参照）

2018年7月9日15時51分頃、翌日に実施する千手発電所（新潟県十日町市）の保守作業のため、取水ルートの変更（浅河原調整池に貯水するルートから発電機に送水するルートへの変更）を行っている際に、宮中取水口のゲートと浅河原調整池のゲートの操作に伴う取水量の変動について判断を誤り、取水量超過を防止するアラームが動作しました。直ちに取水量を減じる措置を行いました。一時的に取水量の超過が発生しました。（最大0.5[m³/秒]、106秒間）

2. 原因

取水ルートの変更操作により取水量が変動することから、超過が生じないように、予め取水量を減じた上で操作すべきところ、減じる量が充分でなかったためにアラームが動作し、一時的な取水量の超過に至ったものです。

3. 再発防止策

- ゲート操作の過程で取水量の超過が生じないように、予め充分に取水量を減らしてから実施すべく、社内で定める手順書で明確に指示いたします。
- その他、取水量の超過が生じる恐れのあるゲート操作について、手順書を再確認いたします。
- ゲート操作のシステム化を推進いたします。

以上

信濃川発電所概要図

【別添資料】

■ 宮中取水口において一時的に取水量が超過しました。（最大0.5[m³/秒]、106秒間）

